

岡山  
く  
り  
ん

**NO.46**  
**2012.9**



一般社団法人 **岡山県産業廃棄物協会**

◆総会報告集◆

- (一社) 岡山県産業廃棄物協会第1回通常総会開催 2  
青年部会第1回総会 6  
(公社) 全国産業廃棄物連合会第2回通常総会 7

◆特集◆

- 第3次岡山県廃棄物処理計画 8

◆行政ニュース◆

- 〈岡山県からのお知らせ〉 産業廃棄物相談窓口のご案内 15  
〈岡山県からのお知らせ〉 電子マニフェストシステムへの加入について 16

---

〈世界見聞録29〉 マレーシア原生林帯をゆくⅡ 倉敷芸術科学大学 河邊誠一郎 17

---

◆支部ニュース◆

- 〈岡山東支部〉 環境学習の小学生とともにクリーン作戦 21  
視察研修会と支部総会を開催 22  
〈岡山中央支部〉 願いを込めて環境クリーン作戦 23  
〈東備支部〉 研修会並びに支部総会を開催 24  
〈倉敷支部〉 平成23年度視察研修旅行 25  
〈倉敷南支部〉 恒例のクリーン作戦実施 26  
〈津山支部〉 第23回支部総会開催 27

◆事務局だより◆

- 平成24年度中国地域協議会開催 28  
協会への入会勧誘のお願い／新規入会正会員紹介 29  
許可申請に関する講習予定表 30

◆青年部会のページ◆

- 青年部協議会中国ブロック第9回通常総会 33  
第8回青年部協議会全国大会 in 岡山 34

表紙カラーガイド／編集後記 36

# 一般社団法人 移行後、初の 通常総会開催



5月24日（木）午後2時から、一般社団法人岡山県産業廃棄物協会の第1回通常総会が、会員379名（うち委任状266名）の出席を得、関係各方面からのご来賓をお迎えして盛大に開催されました。

山陽美業(株)・室山宣英氏の司会によって始まった総会は、岡本会長挨拶（P4-5掲載）の後、恒例の表彰式が行われました。これは、永年に渡って産業廃棄物処理業務に取り組まれ、その功績が顕著だと認められた個人または事業所を会長が表彰するもので、今年度は次頁の表に掲げる12名の

方と3事業所が受賞されました。

おめでとうございます。受賞者を代表して、内田工業(株)の内田篤志氏が謝辞を述べられました。

続いて、ご来賓の方々よりご祝辞を頂戴いたしました。

議事に入る前に、議長に内海産業(株)・松本俊成氏を、議事録署名人に横山商事(株)・横山忠彦、坂田碎石工業(株)・近堂申洋の両氏を、それぞれ選出しました。

松本氏が議長席について議事に入り、第1～第4の4つの議案について審議を行いました。

◇第1号議案 平成23年度事業報告並びに平成23年度収支決算承認について

議長が上程し、稲村事務局長等の説明の後、監事のクラレテクノ(株)倉敷営業所妹尾智行氏より適正妥当と認めた旨の監査報告がありました。

議長が議場に質疑を促したところ特に異議はなく、満場一致、原案どおり承認可決されました。

◇第2号議案 平成24年度事業計画（案）の承認





について

◇第3号議案 平成24年度収支予算（案）の承認  
について

2、3号議案は一括上程され、稲村事務局長等の説明の後、議長が議場に質疑を促したところ特に異議はなく、満場一致、原案どおり承認可決されました。

◇第4号議案 一般社団法人岡山県産業廃棄物協会役員に対する報酬等の支給に関する規程（案）の承認について

議長が上程し、稲村事務局長の説明の後、議長が議場に質疑を促したところ特に異議はなく、満場一致、原案どおり承認可決されました。

以上で議案の全てが終了し、議長解任後、横田一夫副会長が閉会の辞を述べられ、第1回通常総会を終了しました。

この後、岡山県環境文化循環型社会推進課総括副参事楠奥浩庸氏をお迎えして、講演会が行われました。「廃棄物処理法の改正について」と題して約1時間20分にわたってお話いただき、参加者一同、熱心に拝聴いたしました。

## 平成24年度 会長表彰受賞者

◎功労者（当協会の運営に功績顕著な者）

中 田 義 一（有）中田商店  
内 田 篤 志（内田工業（株））  
藤 原 浩 司（有）藤充建設工業  
近 堂 申 洋（坂田碎石工業（株））

◎優良事業所（産業廃棄物処理業の模範となり、当協会の運営に功績のあった企業）

株式会社ケイ・エヌ・ビー  
株式会社日本リサイクルマネジメント  
倉敷事業所  
有限会社フクイクリーン

◎優良従事者（産業廃棄物処理業に従事する成績優秀な者）

浅 野 圭 二（株）岡清組  
早 瀬 達 弘（岡山砒油（株））  
村 角 隆 幸（有）岡山清掃  
西 本 真 吾（協）倉敷市環境保全協会  
安 田 真 吾（クラレテクノ（株）倉敷営業所エコロジーグループ）  
吉 村 勝 利（山陽美業（株））  
高 木 智 之（株）高谷建設  
藤 原 賢 世（エコシステムジャパン（株））



# 一般社団法人化にあたり、 従来にも増して、県民の福祉の向上に寄与を!!

一般社団法人 岡山県産業廃棄物協会 会長 岡本 靖磨呂

本日ここに一般社団法人に移行しての第1回通常総会を開催するにあたり、一言ご挨拶を申し上げます。

ご来賓の皆様方には、公務ご多忙の中、ご臨席を賜りまして誠にありがとうございます。厚く御礼申し上げます。

また、会員の皆様方には、このように多くのご出席をいただきまして、本当にありがとうございました。お陰をもちま

して今日のこの総会を盛大に催すことが出来ました。本当に感謝申し上げる次第であります。



さて、当協会は平成22年度から公益法人制度改革関連法に対応するため、諸準備を進めて来ましたが、皆様のご理解とご協力によりましてお陰さまで、昨年の総会にて一般社団法人への定款の変更（案）等について承認をいただき、岡山県との協議を経て、認可され、平成24年4月1日付けで移行登記を完了いたしました。これによりまして当協会は「一般社団法人岡山県産業廃棄物協会」と名称変更いたしました。法人としては同一性を持って存続しているところであります。

一般社団法人移行後も、「産業廃棄物の適正な処理、再生利用等についての調査研究、普及、研修、指導等を行うことにより、生活環境の保全及び公衆衛生の向上並びに資源の効率的活用を図り、もって県民の福祉の向上に寄与することを目的とする。」ものであります。従来にも増して、県民の福祉の向上に寄与することが、われわれ協会員の最大の役割であることを肝に銘じまして協会を運営してまいりたいと思っております。

さて、国外に目を向けて見ますと皆さんもご承知のように、ギリシャの財政の危機とか、最近では破綻に繋がるような状態でありまして、小さいギリシャの国でもユーロ圏を含めて、世界経済に非常に影響を与えております。それがまた日本経済へも大きな打撃を与えるようなグローバルな時代であります。アメリカの雇用関係など日本経済を直撃するような時代でありまして、日本だけで考えるような時代ではないような、非常に世界的な感覚で判断せねばいけないような時代だと認識しております。

昨年の3月11日の東日本大震災につきまして、皆様も報道その他でご承知のとおりであります。本当に気の毒なことで目も当てられないような画像が全国的に報道されて、本当に大変なことであります。少しずつ回復して行っているようではありますが、一日も早い復興を願っております。これについても非常に先行きの懸念があってなかなかいろんな予算はありますが、行政的な対応、また人材的ないろんなことが、労務者、その他職人に至るまで不足気味のようであります。建設関係においても、いろいろとまだ順調に軌道に乗るとるところまで行かないようであります。

そういう中で、我々といたしましては、この産業廃棄物の業界としては、何と言いましても循環型の社会の構築を一層推進させて、生活環境の保全と産業の健全な発展、社会に欠くべからざる重要な任務等を考えて大いに頑張っていかないかんと思っております。

そして、産業廃棄物の適正な処理に努めるとともに地域の貢献事業としての環境クリーン作戦とか優良施設の視察研修とか、いろんな行事をやっておりますが、そういうことで今後もいろいろ活躍させていただきまして、昨年の改正廃棄物処理法の施行を踏まえての今年度は優良産廃処理業者の育成講習会とかいろんなことを開催したり、処理業全体の優良化の促進を図っていききたいと、かように思っています。

本日の総会は、平成23年度事業報告そして収支決算報告、平成24年度事業計画(案)及び収支予算(案)、そして役員報酬等の支給に関する規程(案)についてお諮りして、よろしく皆さんにお願いしたいと思っております。

なお、審議に先立ちまして、当協会の表彰規程に基づいて、永年にわたり我々の業界に携わり、その功績が顕著であります方々に対して、ご功績をたたえて、表彰式をさせていただきたいと思っております。受賞されます方々に、今後益々のご活躍をご期待したいと思います。

最後になりましたが、引き続き皆様方のご理解とご協力を賜りまして、本日もご臨席のご来賓の方々並びに会員の皆様方のご健勝をお祈りいたしまして、簡単ではありますが、開会のあいさつとさせていただきます。

今日はどうもありがとうございました。





# 全国大会in岡山は全員登録で成功を決意

## 青年部会第1回通常総会開催



平成24年5月24日（木）、岡山プラザホテルにおいて、一般社団法人岡山県産業廃棄物協会青年部会の第1回通常総会が例年通り親会総会との同日開催で行われました。

畑部会長の開会挨拶の後、親会の岡本会長よりご祝辞を頂戴いたしました。

続いて議事に入り、

- 〔第1号議案 平成23年度 事業報告の承認について〕
- 〔第2号議案 平成23年度 収支決算報告の承認について〕
- 〔第3号議案 平成24年度 事業計画（案）の承認について〕
- 〔第4号議案 平成24年度 収支予算（案）の承認について〕
- 〔第5号議案 一般社団法人移行に伴う青年部会の規約 及び名称の改正について（案）〕

を滞りなく承認いただき、

- 〔第6号議案 規約の改正に伴う現役員の役職変更の承認について〕

では、監事を務めていた（有）片岡久工務店の片



岡さん、野田商事運輸(株)の野田さんが幹事となることで承認されました。

議事終了後には、親会の内田副会長より青年部会の担当理事として激励のお言葉を頂戴いたしました。

本年11月22日には、青年部協議会全国大会が岡山で開催されます。この全国大会のテーマのひとつがCSR（企業の社会貢献）であることから、継続事業である環境学習を絡めた形での大会実施を目指し、岡山青年部会員全員で参加登録を行い、実行委員会を中心に青年部協議会、中国ブロック各県と一層協力し、今大会を成功させるべく決意を固めました。



# 公益社団法人全国産業廃棄物連合会 第2回通常総会開催

平成24年6月15日（金）、公益社団法人全国産業廃棄物連合会の第2回定時総会が、環境省ほか関係団体から多数の来賓を迎えて、東京都港区元赤坂の明治記念館で開催されました。当協会からは岡本会長をはじめ8名が出席しました。

## ●総会

石井連合会会長の開会挨拶の後、来賓各位からご挨拶をいただきました。引き続き議事に入り、次の2つの議案の審議と2つの報告事項がありました。

- ・第1号議案 平成23年度事業報告並びに平成23年度収支決算承認の件
- ・第2号議案 任期満了に伴う役員改選の件

（報告事項）

- 1 平成24年度事業計画に関する件
- 2 平成24年度収支予算に関する件

すべての議案が原案どおり可決承認されました。

## ●表彰式

続いて表彰式に移り、当協会からは次のとおり、2氏と1事業所が受賞されました。

### ◎功労者

室山宣英（山陽美業(株)代表取締役）



### ◎地方功労者

前田 功（株蓬萊組マネージャー）

### ◎地方優良事業所

中野開発株式会社（代表取締役 中野 治）

## ●講演会

この日の講師は服部学園食品学教授の鈴木章生氏。「酒・たばこ・上手につき合う法」という演題で、大変意義のあるお話を聞かせていただきました。

## ●懇親会

表彰式終了後、懇親会が催され、来賓の国会議員の諸先生、各県の代表者の方々と懇談のひと時を持ちました。





# 第3次岡山県廃棄物処理計画

～より良い環境に恵まれた持続可能な循環型社会へ～

平成 24 年 2 月 岡山県

概要版

## 1 計画策定の趣旨等

### (1) 計画策定の趣旨

本県では、循環型社会への転換を図ることを基本理念におき、廃棄物処理法に基づいて、平成19年3月に第2次岡山県廃棄物処理計画（平成18～22年度）を策定し、県内における廃棄物の減量化、リサイクル及び適正処理に関する施策を展開してきました。

第3次岡山県廃棄物処理計画は、第2次計画で掲げた目標や各施策等の進捗状況を点検するとともに、近年の世界的な資源制約の顕在化や、地球環境問題への対応、さらには、東日本大震災を契機とした大量生産・大量消費社会の見直しなどの状況変化に対応し、循環型社会の形成を着実なものとするため、本県の廃棄物・循環資源に関する行政の基本的方向を定めるとともに、県民、市町村、事業者、処理業者など関係者すべての指針とするものです。

### (2) 計画の期間

計画の期間:平成23年度（2011年度）～平成27年度（2015年度）の5年間

## 2 廃棄物対策の基本理念及び基本方針

### (1) 計画の基本理念

- ◎ 循環を基調とした廃棄物再生・処理システムの構築
- ◎ 廃棄物の削減による環境への負荷の低減

### (2) 基本方針

計画の基本理念を実現するため、排出者（事業者）責任の原則を徹底し、廃棄物の排出抑制、再使用、再生利用、熱回収、適正処理を基本として、次に掲げる5つの方針のもとに、廃棄物対策を推進します。

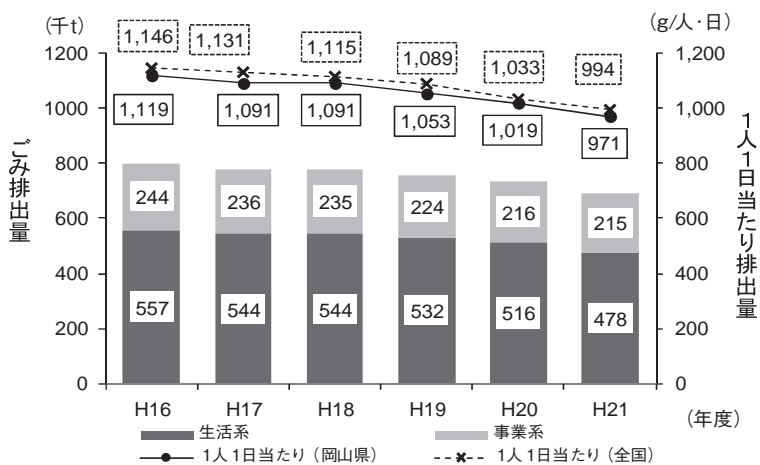
<b>① 排出者（事業者）責任の徹底・強化</b>
廃棄物は、排出者（事業者）が自らの責任において適正に処理を行うことが原則です。この考え方に基づき、廃棄物対策における排出者（事業者）責任の徹底と強化を推進します。
<b>② 排出抑制と循環的利用の推進</b>
環境への負荷の少ない、循環を基調とした社会経済システム（循環型社会）の形成を着実なものとするため、廃棄物の排出抑制を第一とし、廃棄物（循環資源）については適正な循環的利用（再使用、再生利用、熱回収）を推進します。
<b>③ 適正処理の推進</b>
循環的な利用が行われないものは、廃棄物処理法をはじめとする関係法令の遵守、排出者及び処理事業の主体者の意識・構造改革、安全で信頼性の高い高度な処理技術の導入等により、適正処理を推進します。
<b>④ 廃棄物処理施設の計画的な整備の促進</b>
処理・処分しなければならない廃棄物については、適正な処理体制を確保することを基本とし、必要な処理施設の計画的な整備を促進します。
<b>⑤ 廃棄物情報の共有化と相互理解</b>
廃棄物処理に関する透明性を高めるとともに、県民、事業者、行政が循環資源・廃棄物に対する正しい情報を共有するため、情報提供や普及啓発活動等を通じて、廃棄物関連情報の共有化と相互理解を深めます。

### 3 一般廃棄物

#### (1) 一般廃棄物の現状

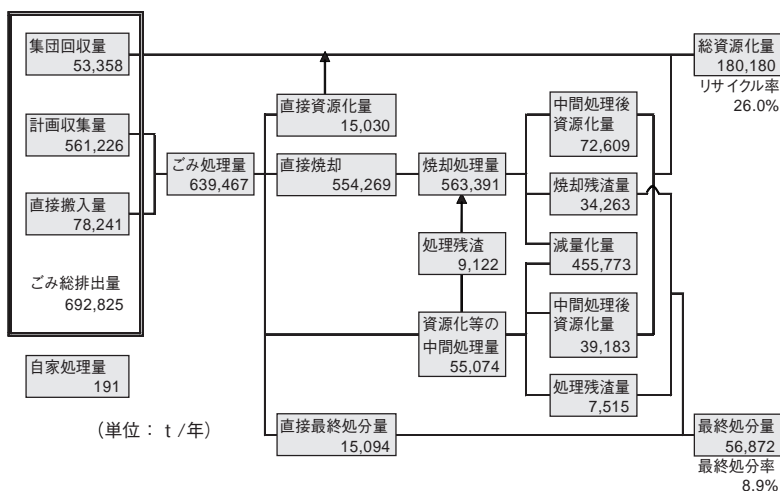
##### < 一般廃棄物の排出状況 >

- ごみ総排出量は、平成16年度に対し平成21年度は108千トン（13.5%）減の693千トンと、減少傾向にあります。
- 生活系ごみは、平成16年度に対し平成21年度は79千トン（14.1%）減の478千トン、事業系ごみは平成16年度に対して29千トン（12.0%）減の215千トンと、共に減少傾向にあります。
- 平成21年度の1人1日当たり排出量は971gで、全国平均994gより23g少ない値となっています。



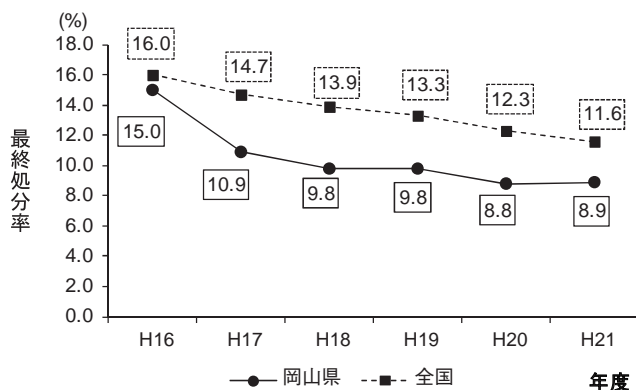
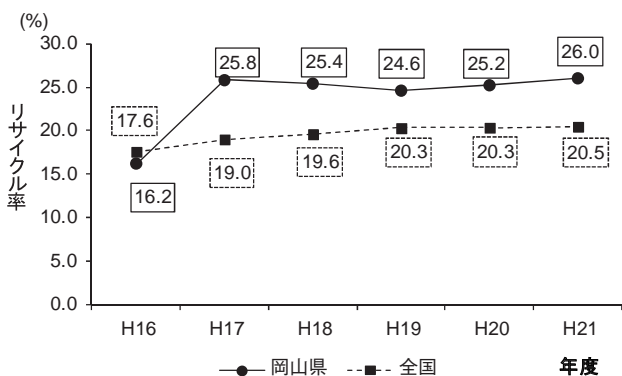
##### < 一般廃棄物の処理状況（平成21年度） >

- 排出されたごみは、焼却や破碎・選別等により中間処理されるほか、直接資源化や直接最終処分されています。
- 総資源化量は、直接資源化量、中間処理後資源化量及び住民による集団回収量を合計して180千トン、最終処分された量は、直接最終処分量と中間処理後の最終処分量を合計して57千トンとなっています。
- 中間処理により減量化された量は456千トンとなります。



##### < リサイクル率、最終処分率 >

- リサイクル率は、平成17年度に急増し、平成21年度では26.0%と全国平均(20.5%)を5.5ポイント上回っています。
- 最終処分率は、減少傾向にあり、平成21年度では8.9%となっています。



(2) 第2次計画目標の達成状況と課題

区分		項目	排出抑制 (ごみ総排出量)	リサイクル	最終処分量の削減
第2次計画 (目標年度: 平成22年度)	予測値		1,189 g/人・日	16.1 %	318 トン/日
	目標値		1,093 g/人・日	24.0 %	214 トン/日
現状 (平成21年度実績)			971 g/人・日	26.0 %	156 トン/日
目標値に対する現状の比較			-122 g/人・日	+2 %	-58 トン/日
達成状況と課題			ごみ総排出量及び1人1日当たりの排出量は減少傾向で推移し、第2次計画の目標を達成していることから、ごみ排出量の削減に向けた取組は順調であると考えられます。今後も県民・事業者・市町村・県が一体となり、さらなるごみ排出量の削減に向けて取り組む必要があります。	リサイクル率は、平成16年度から平成17年度にかけて大きく増加し、第2次計画の目標を達成しています。しかし平成17年度以降はほぼ横ばい状態となっていることから、リサイクルのさらなる推進に努める必要があります。	最終処分量は、年々減少傾向にあり平成16年度と比較すると概ね半減し、第2次計画の目標を達成していることから、最終処分量の削減に関する取組は順調であると考えられます。今後も最終処分場の延命化等の観点から、最終処分量の削減を推進していく必要があります。

備考：ごみ総排出量については、国における算出方法が平成17年度実績から変更されており、第2次計画の掲載値を置き換えている。  
(ごみ総排出量=計画収集量+直接搬入量+集団回収量)

(3) 第3次計画の目標

国の基本方針において示された目標や本県の状況を踏まえ、次のとおり目標値を設定します。

項目	一般廃棄物の減量化の目標 (目標年度：平成27年度)	現状 (平成21年度実績)
排出抑制	1人1日当たり排出量を935gとすることを目指します	971g
リサイクル	リサイクル率を32.7%とすることを目指します	26.0%
最終処分量の削減	最終処分量を130トン/日とすることを目指します	156トン/日

一般廃棄物の目標達成に向けての主な取組

<排出抑制に関する取組>

- おかやま・もったいない運動、マイバッグ運動など県民運動の展開
- ごみ処理の有料化などの経済手法導入の推進
- 多量排出事業者の処理計画に基づく減量化等の促進

<リサイクルの促進に関する取組>

- 容器包装リサイクル法による分別収集や自治会等による集団回収等の促進
- 岡山県エコ製品や岡山エコ事業所の認定、周知による再生品の使用促進
- 小型家電製品等のリサイクルによりレアメタル等の循環資源の有効利用を促進
- 廃棄物系バイオマスの利活用の促進

<最終処分量の削減に関する取組>

- より高度な資源化が可能な廃棄物処理施設の整備を促進
- 焼却施設から発生する焼却灰等の再生利用の促進

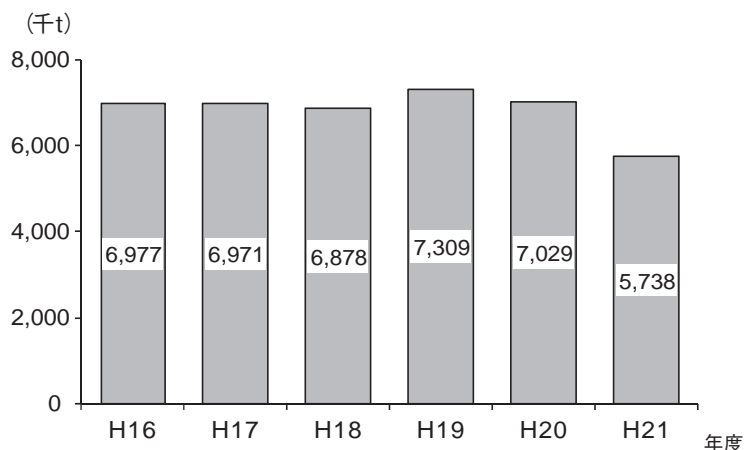


## 4 産業廃棄物

### (1) 産業廃棄物の現状

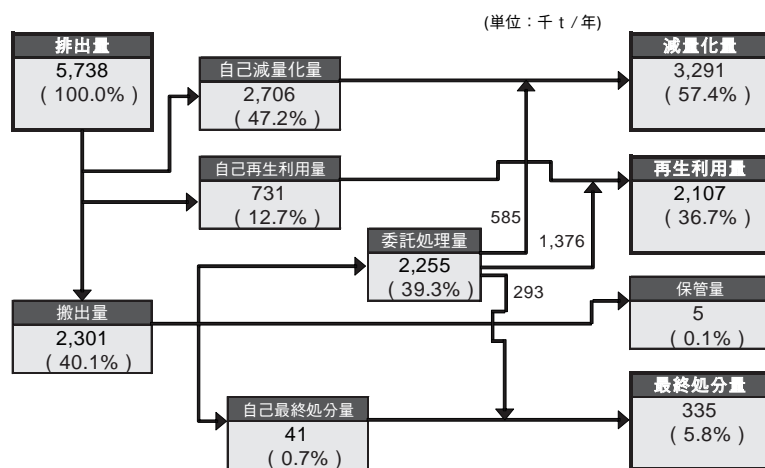
#### < 産業廃棄物の排出状況 >

- 平成 21 年度における産業廃棄物の排出量（農業を除き、特別管理産業廃棄物を含む。）は、5,738 千トンとなっています。
- 排出量は平成 19 年度をピークに減少に転じ、現状は景気後退の影響を強く受けるなど、6,000 千トンを割る水準となっています。



#### < 産業廃棄物の処理状況（平成 21 年度） >

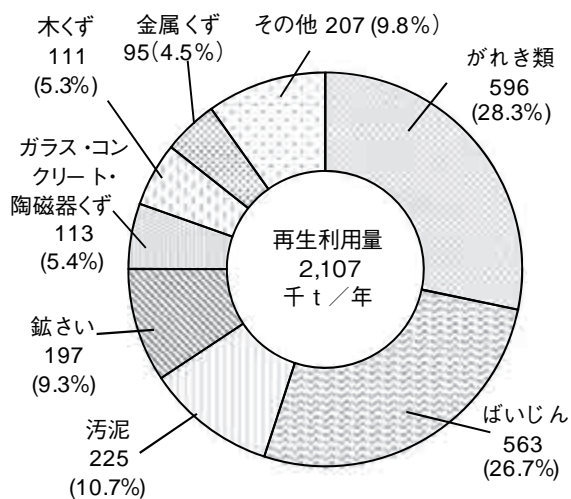
- 排出された産業廃棄物の処理状況は、脱水や焼却等の中間処理によって 3,291 千トン（排出量の 57.4%）が減量化され、2,107 千トン（同 36.7%）が再生利用されています。
- 最終処分量は、335 千トン（同 5.8%）となっています。



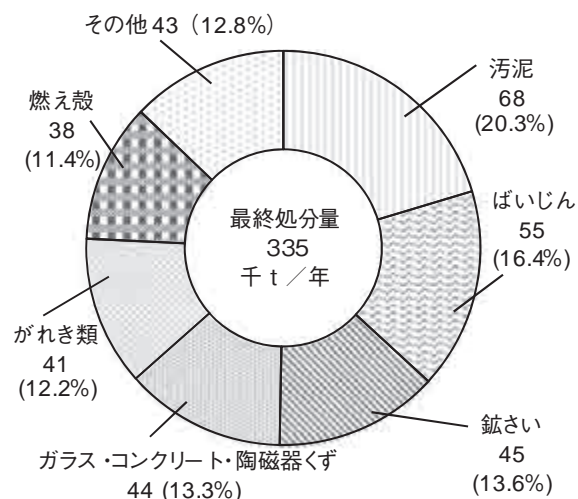
（注）図中の数値は、四捨五入の関係で収支が合わない場合がある。

#### < 再生利用量、最終処分量（平成 21 年度） >

- 再生利用量を種類別にみると、がれき類が 596 千トン（再生利用量の 28.3%）で最も多く、次いでばいじん、汚泥、鉱さい、ガラス・コンクリート・陶磁器くず、木くずとなっています。
- 最終処分量を種類別にみると、汚泥が 68 千トン（最終処分量の 20.3%）で最も多く、次いでばいじん、鉱さい、ガラス・コンクリート・陶磁器くず、がれき類、燃え殻となっています。



再生利用量（種類別）



最終処分量（種類別）

(2) 第2次計画目標の達成状況と課題

区分		項目	排出抑制 (ごみ総排出量)	リサイクル	最終処分量の削減
第2次計画 (目標年度: 平成22年度)	予測値		7,192 千トン/年	36.4 %	498 千トン/年
	目標値		7,000 千トン/年	39.0 %	410 千トン/年
現状 (平成21年度実績)			5,738 千トン/年	36.7 %	335 千トン/年
目標値に対する現状の比較			-1,262 千トン/年	-2.3 %	-75 千トン/年
達成状況と課題			平成21年度において目標値を大きく下回っており、目標を達成する見込みです。これは景気後退など経済的影響も大きく関係していることから、今後の景気動向に留意しつつ、排出抑制を進めていく必要があります。	平成21年度において目標値を下回っており、このままでは目標の達成が厳しい状況です。資源化率の高いがれき類などの排出量の減少が影響していますが、今後は幅広い品目を対象に資源化をより一層進めていく必要があります。	平成21年度において目標値を大きく下回っており、目標を達成する見込みです。循環型社会の形成を着実なものとするため、引き続き最終処分量の削減を進めていく必要があります。

(3) 第3次計画の目標

国の基本方針において示された目標や本県の状況を踏まえ、次のとおり目標値を設定します。

項目	産業廃棄物の再生利用等の目標 (目標年度：平成27年度)	現状 (平成21年度実績)
排出抑制	排出量をおおむね6,000千トン/年とすることを目指します	5,738 千トン/年
リサイクル	リサイクル率を39.1%とすることを目指します	36.7%
最終処分量の削減	最終処分量を305千トン/年とすることを目指します	335 千トン/年

産業廃棄物の目標達成に向けての主な取組

<排出抑制に関する取組>

- 多量排出事業者への排出抑制等の指導の徹底
- ISO14001等の環境マネジメントシステムの導入促進

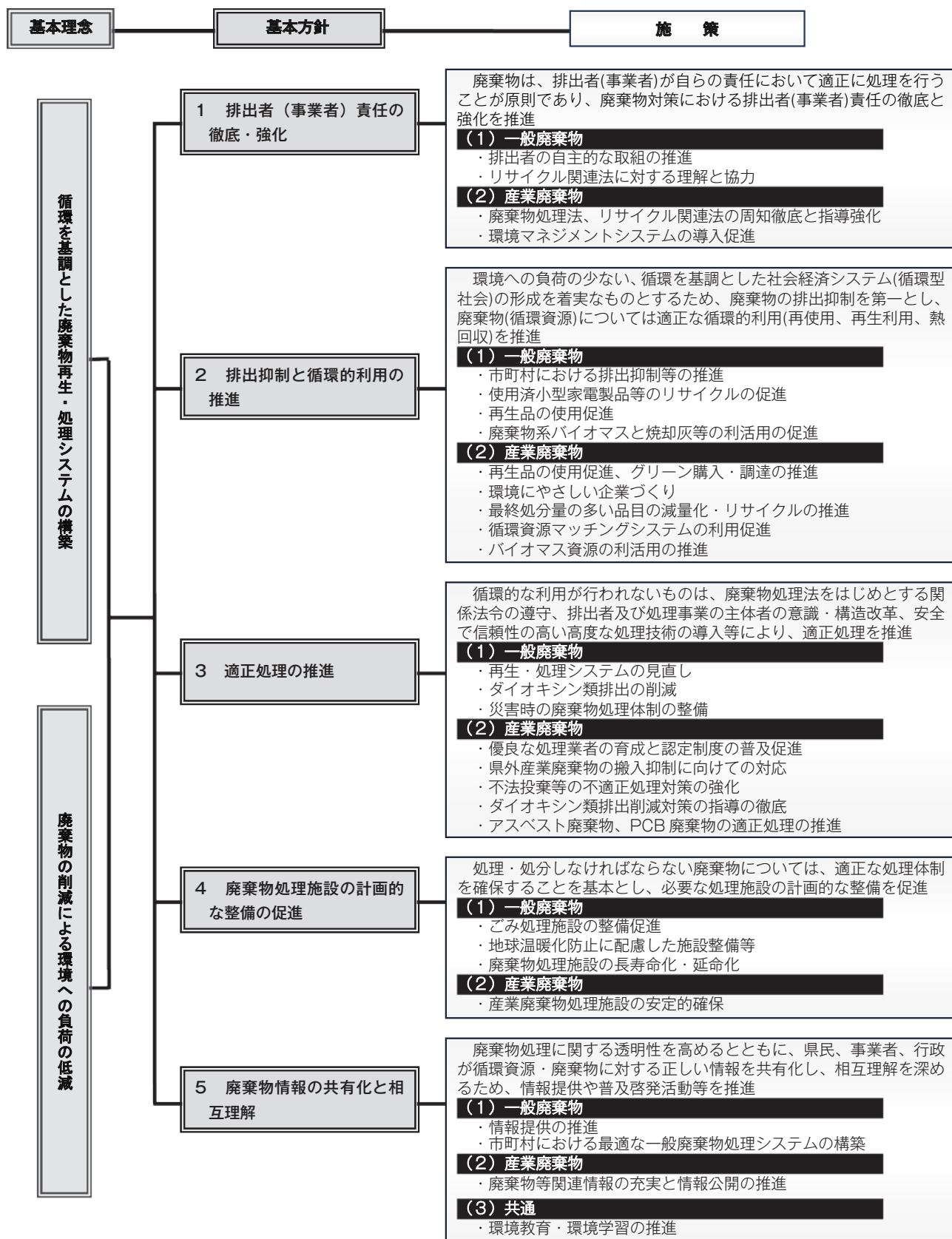
<リサイクルの促進に関する取組>

- 建設リサイクル法などリサイクル関連法に基づく廃棄物等の循環的利用を推進
- リサイクル関係施設の整備、技術開発等への支援
- 循環資源の有効活用を支援するマッチングシステムの利用促進

<最終処分量の削減に関する取組>

- 汚泥など最終処分量の多い産業廃棄物の排出事業者に対する削減指導の徹底

## 5 施策の体系





## 6 計画推進のための関係者の役割

循環を基調とした廃棄物再生・処理システムを構築し、廃棄物の削減により環境への負荷を低減していくためには、県民、事業者、処理業者、市町村及び県がそれぞれの立場において、適切な役割分担により取り組んでいくことが重要です。

県民の役割	<ul style="list-style-type: none"> <li>○廃棄物の減量化やリサイクルの推進を踏まえたライフスタイルを実践する。               <ul style="list-style-type: none"> <li>◆買い物袋（マイバッグ）の持参</li> <li>◆レジ袋・包装類の辞退</li> <li>◆再生品の使用</li> <li>◆ごみ発生の少ない商品の購入 等</li> </ul> </li> <li>○生ごみの水切り徹底による減量化、堆肥化など身近なところから排出抑制、リサイクルに努める。</li> <li>○市町村が定める分別排出ルールに基づいた分別収集に協力する。</li> <li>○リサイクル関連法に基づく制度への理解を深め、分別排出やリサイクル料金負担に協力する。等</li> </ul>
事業者の役割	<ul style="list-style-type: none"> <li>○物品やサービスの購入に当たっては、グリーン購入に努める。</li> <li>○廃棄物の減量化とリサイクルに配慮した製品の製造・販売に努める。</li> <li>○製造、流通、販売においては、できるだけ無包装、簡易包装又はリユース容器の使用に努める。</li> <li>○排出する廃棄物の処理計画を作成することにより、廃棄物の減量化とリサイクルを推進する。</li> <li>○環境マネジメントシステム（ISO14001、エコアクション 21 等）を積極的に導入し、環境に配慮した事業活動の展開に努める。</li> <li>○岡山県エコ製品及び岡山エコ事業所の認定取得に積極的に取り組む。 等</li> </ul>
処理業者の役割	<ul style="list-style-type: none"> <li>○関係法令遵守に加えて地域の生活環境にも配慮し、処理事業に係る県民の信頼確保に努める。</li> <li>○行政が実施する廃棄物・リサイクルに関する各種調査に協力し、施策に協力するとともに積極的な情報の公開に努めるなど、信頼の醸成に努める。</li> <li>○岡山県エコ製品及び岡山エコ事業所の認定取得に積極的に取り組む。</li> <li>○行政等が開催する講習会・研修会に積極的に参加し、産業廃棄物処理に係る各種制度の理解に努める。 等</li> </ul>
市町村の役割	<ul style="list-style-type: none"> <li>○一般廃棄物処理計画を策定（改訂）し、計画に従って一般廃棄物の減量化とリサイクルの推進、適正処理を推進する。</li> <li>○廃棄物処理施設の長寿命化・延命化を図るとともに、地球温暖化防止に配慮した施設・設備の導入を図る。</li> <li>○マイバッグ運動、集団回収活動、生ごみの排出抑制、廃棄物系バイオマスの利活用に取り組む。</li> <li>○住民に対して、ごみの排出抑制、リサイクル、再生品の使用等の普及啓発に努める。 等</li> </ul>
県の役割	<ul style="list-style-type: none"> <li>○産学官の連携や民間団体と協働して、廃棄物の排出抑制、循環的利用及び適正処理に関する各種施策を推進する。</li> <li>○廃棄物・リサイクル情報を提供する循環資源情報システムの利用促進を図る。</li> <li>○岡山エコタウンプランに掲げるハード・ソフト事業を推進する。</li> <li>○おかやま・もったいない運動等の各種啓発イベントや各種広報媒体を通じた普及啓発を行い、ごみの排出抑制、減量化、リサイクル、再生品の使用等を推進する。</li> <li>○不法投棄等に対する監視・指導を強化し、不適正処理の未然防止と早期発見に努める。 等</li> </ul>

### 第3次岡山県廃棄物処理計画（概要版）

岡山県 環境文化部 循環型社会推進課  
 〒700-8570 岡山市北区内山下2丁目4番6号  
 TEL 086-226-7306 FAX 086-224-2271  
 E-mail junkan@pref.okayama.lg.jp  
 岡山県庁HP <http://www.pref.okayama.jp/>

# 産業廃棄物相談窓口のご案内

平成24年度の産業廃棄物相談窓口及び担当者は次のとおりです。

## ◇岡山県環境文化部 循環型社会推進課 産業廃棄物班

岡山県庁：岡山市北区内山下二丁目4番6号

TEL.086-226-7308（ダイヤルイン）

課長	村木 智幸		
参事	高田 誠二	主任	井戸 学
総括副参事 (班長)	楠奥 浩庸	技師	豊福 聡史
主幹	坂本 誠	技師	國府 信政

## ◇県下各県民局

局名	担当課	TEL	課長	総括参事 (班長)	担当者
備前県民局	環境課 (廃棄物対策班)	086-233-9805	岩本 充博	白髪 輝夫	鶴谷、奥井、中山、西尾、 木下、岡崎
備中県民局	環境課 (廃棄物対策班)	086-434-7007	伊東 清実	黒住 博志	花田、渡邊、村上、多田、 金子、中谷、相原
美作県民局	環境課 (廃棄物対策班)	0868-23-1243	守安 秀徳	大森 祐宏	住吉、原田、池田、小山、 飛峪、石井、足立

## ◇岡山市環境局 産業廃棄物対策課

岡山市役所：岡山市北区大供一丁目1番1号

TEL.(代表) 086-803-1000 (内線3930～3934)

(直通) 086-803-1303、1304

FAX.086-803-1737

e-mail sangyouhaikibutsutaisakuka@city.okayama.jp

課長	高橋 琢之				
課長補佐	進 敦良、根岸 隆志				
(規制係)	(監理係)		(監視班)		
規制係長	後藤 義則	監理係長 (兼務)	根岸 隆志	嘱託員	渡邊 孝信
副主査	菱川 真輔	副主査	長谷井 誠	〃	小山 徳芳
〃	藤原 浩恭	〃	木村真一朗	〃	草刈 晴康
技師	小野翔太郎	〃	菊山 誠	〃	川越 秀紀
		〃	藤田 求	〃	黒瀬 卓宏
		主任	池田 明弘	〃	上野多一郎
				〃	函師 通雄
				〃	安井 博志

## ◇倉敷市環境リサイクル局

リサイクル推進部

産業廃棄物対策課

倉敷市役所：倉敷市西中新田640

TEL.086-426-3385 (直通)

FAX.086-421-0144

e-mail iwst@city.kurashiki.okayama.jp

課長	佐藤 慶一
課長主幹	木村 則博
〃	内橋 正登
主任	行武 英則
副主任	平田 忠
〃	石井 泰之
主事	北野 智之
技師	藤田 智紀



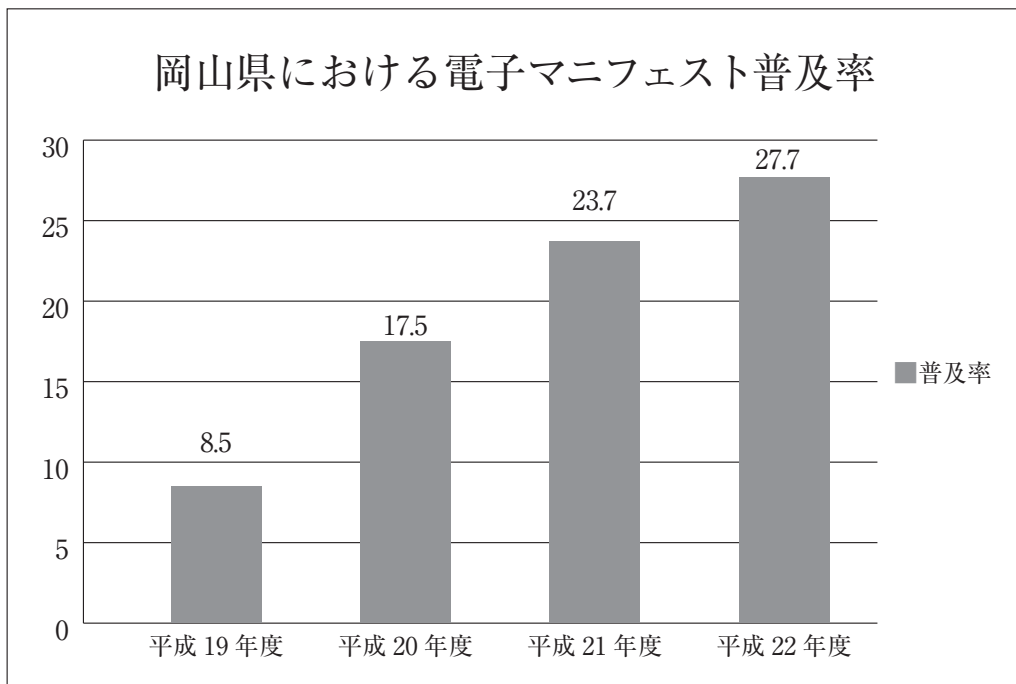
# 電子マニフェストシステムへの 加入について

電子マニフェスト制度は、マニフェスト情報を電子化して、排出事業者、収集運搬業者、処分業者の3者が、情報処理センター（公益財団法人日本産業廃棄物処理振興センター）を介したネットワークでやりとりする仕組みです。

電子マニフェストを利用するには、排出事業者と委託先の収集運搬業者、処分業者の3者が情報処理センターのネットワークシステムに加入することが必要ですが、電子マニフェストのメリットである「情報の共有」と「情報伝達の効率化」により<事務処理の効率化>、<法令の遵守>、<データの透明性>が推進されます。

岡山県では、電子マニフェストの普及率は徐々に伸びてきており、平成22年度で27.7%となっていますが、更にその普及拡大を図ることとしています。

平成23年4月に施行された「優良産廃処理業者認定制度」では、電子マニフェストシステムへの加入が一つの条件となっています。まだご加入いただいていない社におかれましては、是非、早期にご検討ください。



お問い合わせ先  
 公益財団法人 日本産業廃棄物処理振興センター  
 サポートセンター TEL：03-5275-7023  
 (月～金曜日 午前9時～午後5時)  
 ホームページ <http://www.jwnet.or.jp/jwnet/>



# マレーシア 原生林帯をゆく II

倉敷芸術科学大学  
河邊誠一郎



熱帯のリゾート：キャメロンハイランドの茶畑  
出典：フリー百科事典『ウィキペディアWikipedia』

## 命の水

人間はその体重の約70パーセントが水である。灼熱の砂漠を、水なしでさまよった場合、発熱と発汗によって大量の水を失い、3日ともたない。普通、体内から10パーセントの水が失われると死んでしまうとも言われている。

熱帯多雨林であるマレーシアジャングルには豊かな水の流れがあり、そのために、多くの生物が育まれ、豊かな自然が形成されている。

まさかここで水が原因で死んだりすることはないだろう、と思うのはジャングルを実際に歩いたことのない素人の考えである。

熱帯雨林ジャングル内は、湿度100パーセントに近い。ここに分け入ると、全身から汗が噴き出てきて、短時間のうちに首に巻いたタオルがグッショリと汗を吸い、絞れば流れ落ちるほどとなる。そこでもし、まともな水が・飲み水が得られなかった時、考えられることは、危険な細菌やアメーバ・原虫などの疾患による病院行きである。水はそ



危うし！ 飲水がない！

こら中にあるが、それらは日本の水と違って人間が決してそのままで飲んではいけない水なのである。特に、世界一清潔好きで、無菌培養され、何の免疫性・抵抗性も持たなくなってしまった日本人にとって、場合によっては死にも至る。

戦中、この辺りで戦わざるを得なかった日本兵の多くが、この水が原因で死線をさまざましている。先年、ラオスの山中で、洗面、野菜の水洗いの不注意から、重篤な赤痢菌のため、命を落としそうになった同行者の例もある。

## 水が無い！

同行の若者、大島君の大いなる頑張り、我々に大ピンチを招いてしまった。

様々な採集用具をリュックに詰め込みすぎてしまったために、持参の2リットルペットボトルの底に傷をつけてしまい、気付いた時にはもはや空っぽ。まだ道半ばのジャングル歩きの最中である。この先2人分の水量は到底ない。

この蒸し暑い、果てしないジャングルの中で、これからの5 - 6時間をどうやって乗り切ればいいのか？ 我々はこれまでの経験・知識の数々を総動員して、このピンチをいかに最小限に抑えるかを必死に考えた。火器類の持参は許されていないため、煮沸消毒水は造れない。

頭の片隅に、将来西表の山奥でターザン生活をするために読み漁ったサバイバル本のさまざまなノウハウが残っていた。

ある種の木々は、たっぷりその幹に水を含んでいる。いわゆる天然のフィルターとして、川の水を濾し、ミネラルたっぷりの美味しい水その樹体内に大量に持っている。

かつて、ジャングルバイオ研究活動の一環として、地域興しのための動植物の有効利用・開発を考えた中に、北海道や高地に生える白樺の水を、岡山では、若竹の中の竹水を売り出すアイデアがあったことを思い出した。

例えば、早春に芽を出す前の直径30センチほどの白樺の木は、1シーズンにドラム缶数本分の白樺水を吐き出すと言われていて、それは飲料水(美味)として、化粧水として使える非常に高価な価値ある水を出してくれる。1本の木から、1シーズンに優に2〜30万円も稼ぎだしてくれるという。



飲みたくても飲めない水

## あった! あった!

我々は、このような樹種をこのジャングルに求めた。しばらく探してみると、あった! あった! 以前に資料で見た感じの木: マメ科・つる性の植物が見つかった。

これを、早速今回の事件の元凶となった鉈でスッパリと切断して、待望の美味・無菌水の出現を待った。しかし、何故か、そこからは1滴水も落ちては来ない。

そこで、再度、持てる知識を・知恵を絞って考えた。根から吸われた水は、蔓を毛管現象・蒸散の働きを利用して上昇している。そのため、その上部が解放されないとその中の水は出てこないに

違くない!

早速、その考えを実行に移した。考え通りの大成功! 蔓の上部も切断すると、そこに閉じ込められていた美味水が、一気にほとばしり出てきた。直径5〜6cm、1m足らずの蔓から、ゆうにコップ1杯分の清水が出てきて、我々を喜ばせ、安堵させた。

それは、我々の乾ききった喉を潤してくれると同時に、今後のジャングル歩きでの、野生の中で生き残る術として、重要な成果ともなった瞬間だった。

## 赤い絹

松本清張のミステリー小説に、タイシルクを手掛けて、大成功を収めたジム・トンプソンを題材にした有名な作品がある。英国が開発したマレーシアの高級高原リゾートを舞台にしている、彼は周辺のジャングルへ散策に出かけたまま、その消息を絶ってしまっている。そこは、今でもマレーシア1の高級リゾート地として有名な避暑地である。

そのキャメロンハイランドは、広大な熱帯雨林のジャングルの上、渓谷を遡った先、マレー半島の中央部にある。麓の熱帯ジャングルは、昆虫・



ジャングルの中は至る所に巨大動物の痕跡が(ヌタ場)



命の水、発見!





マレーシアの国蝶  
アカエリトリバネアゲハの  
吸水集団



バイオリンムシ  
キノコ株の狭い隙間に  
潜む



ハナカマキリ  
花の中の悪魔



コノハムシ  
周りの葉と  
一体化・同化して

植物・動物の宝庫となっており、大の大人をも飲み込む巨大なニシキヘビ（前述No 2）、凶暴なトラさえも生息しているという。

しかし、上部の高原地帯には、インドのダーズリンにも負けない、熱帯とは思えないほど快適な気候のリゾート地がある。

次に、我々はこちらを目指した。途中のジャングル地帯には、各種の珍しく、貴重な昆虫・植物・動物が溢れていて、我々のような昆虫・植物大好き人間にとってあこがれの地ともなっている。

危険なタマンヌガラジャングルの次の目標として、ここキャメロンハイランド・快適な高原リゾート地を設定した時点で、また、西山がここから参加してくれる話も出来て、我が家の子ども達も途中参戦することになった。



アカエリトリバネチョウの吸水集団をゲット

## 高級リゾート “キャメロン・ハイランド”

東南アジアではよくあることかも知れない。雷・豪雨の中、長時間空港の上空を旋回されてはかなわない。足元でのガタッという音がして、車輪が出てくるまで、毎回冷汗ものである。しかし、初めての飛行機旅、途中合流の御一行様は、そのような不安も全く意に介さず、元気に首都クアラルンプールに降り立ったのだった。

初めての海外旅行。しかも、穏やかな日本とは

全く違う、熱帯の国である。そこで見るもの、聴くもの、食べるもの、触れるもの、全てが新鮮で、物珍しい。しかも、現地通の西山と、その配下のベテラン運転手が付いている。我々一同、大船に乗った気分、ここからは大名旅行の始まりである。

キャメロンハイランドへは、クアラルンプールから車で4-5時間。麓に広がる広大なジャングル地帯を抜け、事故の多い急な狭い坂道を縫うように登りきったその先、マレー半島のほぼ中央部に、同じくイギリスが開発したインドのダーズリンと並ぶ高原都市・高級リゾート地がある。





夜間採集は槍を持って



灯火に集まる巨大昆虫たち

周辺には、冷涼な気候を活かした、お茶畑、菊やイチゴ、蘭園などが広がっている。また、その麓の広大な熱帯ジャングルには、数多くの珍しい動植物が今も生息していて、昆虫・植物・動物愛好家のあこがれの地ともなっている。

## 備えあれば...

我々ご一行は、快適な高原の探索を楽しみ、そして、後にワシントン条約にも指定されてしまったマレーシアの国蝶ともいえるアカエリトリバナアゲハ（無数に舞っていて、現地住民の生活の一部ともなっている：許可書があれば採集可）などの珍しい昆虫を求め、ジャングルの探索を敢行した。子ども達も大自然の、生き物の素晴らしさを満喫した。

しかし、そこはやはり世界に名だたるジャングル、夜間の探索には万全の対策が不可欠と言われ、大げさとも思える武器？（長槍）持参でコブラや

トラ？の夜間の襲撃にも備えた。

さすが、昆虫愛好家垂涎の地、昆虫類は非常に豊富で、大きく、きれいなうえ、珍妙な姿・形のものが一杯いた。日本では絶対に見られない自然に適応・同化する工夫を凝らした昆虫も沢山いて、子どもたちにとっても楽しい体験となった。

海辺のペナン島の探索も行った。超高級ホテルにも泊まり、海岸では獲れたての新鮮海鮮料理も食べた。村の食堂で食べたカンボン（田舎風）食のお粥でさえ新鮮で美味かった。西山の指導による、マレーシアの仲間が経営するペナンヒルの昆虫ガーデン、ペナンヒル原生林での昆虫採集、伝統ある寺院や文化施設探訪などと共に、子どもたちにとっては貴重な体験となった。

この採集旅を機に、高校2年生だった大島少年は、九州大学大学院に進み、博士となり、現在、三重県の自然史博物館の昆虫・動物部門の学芸員として、その設立に活躍している。

“少年少女よ、海外へ！”である。



マレーシア・タマンヌガラ,キャメロン探検隊

岡山東  
支部

# 環境学習の小学生とともに クリーン作戦

岡山東支部のクリーン作戦は、寒波の中でスタートしました。しかしながら、環境学習の一環で参加した元気一杯の牛窓西小学校4年生の生徒さんを見ていると、我々も元気よく作業に向かうことができました。ちなみに、瀬戸内市の武久市長様も必ず参加していただいております。

毎回感じることはありませんが、事業系よりも一般家庭から出る粗大ゴミの類が多いことです。一般家庭のモラル向上が必要なのだと痛感します。その為にも、岡山東支部が青年部会とのコラボで実施している「小学生の環境学習（作業+座学）」などが重要だと考えます。

今後もこのクリーン作戦が「価値ある事業」になるよう、会員一同努力する次第であります。参加されました会員の皆様、関係者の皆様、誠にご苦労様でした。





# 視察研修会と支部総会を開催

7月17日（火）に平成24年度の岡山東支部の視察研修と総会を岡山県産業廃棄物協会の稲村局長を来賓にお迎えし12社16名の参加で開催しました。岡山東支部では、多忙な会員各社のご都合も踏まえ、より多くの方に参加いただく為に、毎年視察研修と総会をセットで開催しているものです。



今回の視察研修は、岡山県環境保全事業団の水島処分場と水島クリーンセンターの施設を見学しました。水島処分場は、管理型の最終処分場として昭和54年から廃棄物の埋立を開始され、平成21年には第2処分場の使用も開始、第1処分場と合わせ1,540万m<sup>3</sup>の埋立容量で岡山県下では最大規模の最終処分場となっています。受入に関しても事前審査、契約、搬入及び処分の一連の流れの中で、廃棄物の温度測定や抜き取り検査による安全性の確認、処分場内の余水の水処理と監視などにより徹底した安全管理、環境管理が行なわれ環境保全の維持に取り組まれています。

また、水島クリーンセンターは、資源の有効利用を考えた環境にやさしい施設として、下水汚泥と高カロリーの廃プラスチック類を巡回型流動床焼却炉により混焼し減量化・安定化を図るとともに、焼却によって得られた熱エネルギーを最大発電能力1,200Kwのタービンで電気に変え施設内の殆どの電気を賄うことが出来ているとのことでした。また、焼却に伴い発生するガスも高度な排ガス処理設備により処理され環境にも充分配慮されています。



今回、最終処分場やクリーンセンターを見学させていただき、改めて環境汚染へ細心の注意を払いながら処理処分事業を行われていることを感じました。廃棄物の処理に関してお世話になっている加盟企業も多くあることから見学の途中で色々な角度からの質問も多く出されていました。参加者からは、改めて産業廃棄物が適正に処理されていることを確認でき大変有意義な研修であったとの感想を多く頂きました。

研修会終了後の16時30分からは、場所を岡山プラザホテルに移し総会を開催しました。岡山県産業廃棄物協会が、一般社団法人となつての最初の総会ということもあり、第1回岡山東支部総会として開催しました。

平成23年度事業報告では、瀬戸内市牛窓町で瀬戸内市や地元の皆さんと一緒にいったクリーン化事業の報告や昨年度の視察研修会などの各種行事が報告され決算報告とともに承認されました。また、平成24年度の事業計画も昨年同様クリーン化事業や視察研修、勉強会の実施が提案され満場一致で可決決定されました。その後、懇親会に移りお互いの情報交換や近況報告で盛り上がり盛会裏の内に終了いたしました。





# 願いを込めて環境クリーン作戦

平成24年1月18日（水）、岡山県産業廃棄物協会岡山中央支部は岡山空港付近、岡山市北区三和・ランドコ池周辺に不法投棄された廃棄物を回収する『クリーン作戦』を実施しました。当日は天候にも恵まれ、雲ひとつない晴天で、蔵本顧問、田口副支部長の挨拶後、回収作業は意気揚々と開始されました。

回収作業は霜が降りる1月中旬、また年明け間もない忙しい中にも関わらず環境省や県、岡山市環境局は各所長他6名も参加を頂き、太田県議や難波市議、岡山西警察署からも3名、また地元からも多くの方にご参加頂き、総勢約60名で「きれいで住みやすい地域」を目標に山中に不法投棄された廃棄物を回収しました。

普段交通量のほとんどないと思われる細い山道脇には、ペットボトルや弁当箱などの一般廃棄物を中心に、テレビなどの家電製品や廃タイヤなどが多数不法投棄されていました。

皆一様に、それらの廃棄物を見るたびに「何故ここまでわざわざ不法投棄をしに来るのか」という怒りや疑問を持ちながら約2時間の作業を終えました。集めた廃棄物の量は2tダンプ約5台、特に廃タイヤは2tダンプ1台分にもなりました。

回収作業を終え、すっかりきれいになった山道に「これを見て一人でも多くの方が不法投棄を思い留まってくれば…」という思いを込めて看板を設置し、クリーン作戦は終了しました。

不法投棄という問題は以前から大きな問題として取り上げられますが、一向に不法投棄は無くなることはありません。今回の活動は小さなことかもしれませんが、地域の方と一体となり、今後もこういった活動をしていきたいと思えます。



# 研修会並びに支部総会を開催

- ・開催日時 平成24年5月17日（木） 16:00～
- ・場 所 瀬戸内市長船町「おさふね サービスエリア」2階会議室

本年も昨年と同様に、備前県民局地域政策部環境課総括参事 白髪輝夫様を講師にお迎えし、

「最近の廃棄物行政について」との演題で、約1時間、講演を頂きました。

「岡山県環境白書 2011」「新岡山県環境基本計画 エコビジョン2020」「第3次岡山県廃棄物処理計画（概要版）」を資料に、『より良い環境に恵まれた持続可能な社会』をいかにして実現するかという新年度の推進目標「環境と経済が好循環する仕組みづくり」をわかりやすく説明いただき、会員からの質疑応答など大変勉強になる有意義な研修会となりました。



休憩の後、総会に入り横山商事(株)横山支部長の開会挨拶につづき、議事に入った。

平成23年度事業報告、収支決算報告につづき(株)山陽精油所の林田監事より監査報告、そして、平成24年度事業計画、収支予算案、その他と進み、いずれも満場一致で承認可決された。

以上で、すべての議事が終了した。

総会后、場所を替えて、横山支部長の乾杯の音頭で懇親会がスタートした。

テーブルに、つぎつぎと運ばれてくる料理やお酒をいただきながら、情報交換や楽しい会話に花を咲かせ、和気あいあいのひと時が過ぎ、キョクトウ(有)寺尾幹事の三本締めで、本日の予定をすべて終了した。

平成24年度も本部の事業計画に沿いながら、役員一同、クリーン作戦や研修会等々頑張りますので、支部会員の皆さま多数のご参加、ご協力をお願い致します。



倉敷

支部

## 平成23年度視察研修旅行

当支部では3月2日~3月3日の2日間、広島県福山市地内にある(株)エフピコを視察研修させていただきました。同社は「食品トレー」の製造、販売を通じて社会に貢献されている企業です。

あいにく、視察日当日は同社の健康診断日であり限られた時間且つ現場だけの視察となりました。

先ず製造過程を元からではなく完成品から拝見させていただき、通常の製造過程を逆から説明するという非常に珍しい方式の施設案内でした。(意外と、この方法の方が色々な過程を理解しやすかったです。) 企業としての取組内容を環境・製品開発・工場・物流・販売活動・オフィスと分けて詳しく説明をしていただきました。

残念ながら、特許などの関係上で工場内は撮影禁止でしたが、説明をしてくださったマネージャーさんは非常にユニークな方であり終始、私たちも楽しく工場を見学することが出来、予定していた時間はあっという間に来てしまいました。非常に勉強となる事ばかりでした。

最後に事務所前で記念撮影を行い、食品トレーのリサイクル製造された「植木鉢」を記念品としていただき同社を後にしました。





# ホタルまつりの翌日 恒例のクリーン作戦実施



本年度の倉敷南支部クリーン作戦は、6月10日（日曜日）に開催しました。

当支部のクリーン作戦が、なぜお休みの日曜日実施となるか？ と言えば、その前日の6月9日（土曜日）に「螢遊の水辺・由加」ホタルまつり開催後、遊歩道近辺のゴミ拾いを地元児島由加「螢遊会」の方々と共に実施し、ゴミの処分を行い環境の美化を保つ・・・という行動をしているためでした。

今回で第3回目となりましたが、地域や地元の方々との交流の場であるとの意識も持つての計画と行動です。

また、地元児島由加「螢遊会」の方々からも3回目の実施となると、協会の活動を期待もされ、お礼として今回、缶ビールを1ケース頂きました。南支部協会員19名と螢遊会の方35名とで実施し、最後は「ありがとうございます。また来年もよろしくお願いします。」と地元螢遊会の方々からの言葉を頂きながら、お別れをさせていただきました。

## 「螢遊の水辺・由加」ホタルについて

この水辺は生息環境の悪化により減少したホタルを復活させようと、国の補助を受けて整備された県内では珍しい石積護岸の水路です。

幅2mの水路に沿って遊歩道があり、肩に止まるくらい間近で多数のゲンジホタルを鑑賞することができますので、また来年となりますが是非ともお越しください。







# 第23回支部総会開催



去る、5月11日（金）午後3時30分より津山鶴山ホテルに於いて、第23回津山支部総会を開催しましたところ、会員57名中43名（内委任状出席29名）の出席を得、総会成立の運びとなりました。

河原副支部長挨拶の後、議事に入り、平成23年度活動報告、決算報告並びに平成24年度活動計画について熱心に協議して頂きました。主な活動内容の中には、昨年11月22日に行われた第17回環境クリーン作戦があります。

環境クリーン作戦につきましては、平成24年度においても大きな行事予定のひとつでもあり、例年通り実施していくということで出席者全員の承認を得られ、日時・場所等詳細については、役員会で協議し会員に通知することになりました。

また、当支部・協会本部に対して希望する活動（講演、研修等）や要望事項があれば、どんなことでも事務局まで連絡していただくようお願いしました。

議事終了後、休憩に入った後は、岡山県美作県民局環境課の大森総括参事による講習会として、「産業廃棄物処理の法改正について」と題し、環境省が作成している「廃棄物の処理及び清掃に関する法律の一部を改正する法律等の施行について」と、「産業廃棄物管理票制度の運用について」という資料に沿って、約一時間程講演していただきました。

講習会終了後は会場を移し、坂田碎石工業(株)近堂社長の挨拶と乾杯の音頭で懇親会となり、和気あいあいと懇親を深めつつ津山支部総会を終了した。



# 中国地域協議会総会が山口市で開催

平成24年度中国地域協議会の総会が、6月26日（火）山口市で開催されました。

その概要は、次のとおりでした。

## 1 日時

平成24年6月26日（火）午後2時30分から

## 2 場所

山口市湯田温泉2-6-24「ホテルニュータナカ」

## 3 出席者

連合会：石井邦夫会長、香川智紀事業部長兼調査部長、藏本忠男前理事、川本義勝前理事

連合会政治連盟：國中賢吉理事長

岡山県：岡本靖磨呂会長、横田一夫副会長、大塚雅司副会長、稲村義博専務理事兼事務局長

広島県：木吉榮副会長、長瀬充良副会長、前田忠顯副会長、三谷哲也副会長、山本誠専務理事

山口県：吉本勝利会長、阿部吉明専務理事兼事務局長、喜井鶴澄事務局次長

島根県：福代明正会長、安田幸伸専務理事

鳥取県：越生昭徳会長、伊藤源蔵専務理事兼事務局長

## 4 議事

中国地域協議会総会の開催にあたり、幹事県である山口県協会会長・吉本勝利氏が挨拶、続いて、来賓として公益社団法人全国産業廃棄物連合会会長・石井邦夫氏が挨拶した後、年度当初の協議会であるため、出席者全員が自己紹介を行った。

地域協議会の規定により吉本会長が議長となり、議事に入った。

(1)平成23年度事業報告承認の件及び平成23年度収支決算報告承認の件

原案どおり承認された。

(2)平成24年度事業計画（案）承認の件及び平成24年度収支予算（案）承認の件

原案どおり承認された。

(3)（公社）全国産業廃棄物連合理事、委員会、部会運営委員（案）承認の件

原案どおり承認された。

(4)各県提出議題について

ア 緑十字賞表彰中国地区推薦の方法について

イ 旅費規程について

ウ 非飛散性アスベストの処理状況について

エ 廃石膏ボードの処理について

オ 東日本大震災に伴う災害廃棄物の処理支援

各県からの提案理由の説明並びに質疑応答の後、全産連から関係事項について指導・助言を受けた。

(5)情報提供について

ア （公社）全国産業廃棄物連合会へ提出された陳情書について

イ 平成23年度第1回災害廃棄物対策委員会議事録について

ウ 非飛散性アスベストの処理状況について

エ 平成24年度環境配慮契約基本方針検討会廃棄物専門委員会（第1回）について

オ 平成24年度廃棄物処理従事者能力アップセミナー開催計画について

全産連等から上記情報の提供があった後、意見交換を行った。

以上をもって議事は全て終了したので、福代副会長（島根県協会）の挨拶で閉会した。



# 協会への入会勧誘のお願い

当岡山県産業廃棄物協会は、創設以来、産業廃棄物処理業者等の相互連携のもとに、産業廃棄物の適正な処理及び再生利用等についての調査・研究・研修・指導・情報提供等幅広い事業を実施することにより、産業廃棄物の適正な処理を推進し、産業の健全な発展に寄与するとともに、生活環境の保全及び公衆衛生の向上に大きな役割を果たしています。

産業廃棄物処理業界が健全な業界として発展していくためには、業界の方々が結束することにより、組織をより強固なものにして、共存発展することが肝要であります。

協会の増強については、協会及び関係機関において日頃、勧誘を行っているところではありますが、一般社団法人として組織率は、未だ十分とはいえないのが現状であります。少数よりも多数組織の拡充強化が、社会的にも発言力が強力なものとなり、説得力も増大し、業界発展の基礎になります。

1社でも多くの方が協会に入会されますことが、更なる発展を期するための、必要な条件であります。

会員の皆様におかれましては、未加入処理業者へは正会員として、また、取引先の排出事業者には賛助会員として、是非ご入会の勧誘をお願いいたします。

## 入会金及び会費

	正会員			賛助会員
	収集運搬業		中間処理業 最終処分業	
	(車両2台以下)	(車両3台以上)		
入会金	30,000円		60,000円	30,000円
会費	月額：4,000円	月額：6,000円	月額：10,000円	年額：50,000円

## 入会方法

入会には入会申込書及び業の許可書のコピーを提出していただくこととなっていますので、下記協会事務所へ電話などでご連絡いただければ、入会申込用紙をお送りいたします。

### 一般社団法人 岡山県産業廃棄物協会

〒701-1152 岡山市北区津高628-6 TEL：086-254-9383 FAX：086-254-8766

## 紹介 新規入会正会員

(株) テクノ開発

代表取締役 木田憲治

<収集・運搬>

〒702-8031 岡山市南区福富西1丁目3番31号  
TEL. 086-902-1235 FAX. 086-201-0283 [所属支部：岡山西]

(株) テクノ見附

代表取締役 納所義夫

<収集・運搬>

〒712-8044 倉敷市東塚6丁目9番45号  
TEL. 086-455-8051 FAX. 086-456-1981 [所属支部：倉敷南]

(株) タケモト土木

代表取締役 竹本義人

<収集・運搬>

〒701-1145 岡山市北区横井上507番地の60  
TEL. 086-294-2538 FAX. 086-294-5728 [所属支部：岡山中央]

(株) エクステリア101

代表取締役 岩井勉

<収集・運搬>

〒700-0951 岡山市北区田中148-115  
TEL. 086-242-1013 FAX. 086-245-4101 [所属支部：岡山西]

よこたまさふみ  
横田雅史 (屋号：横田商店)

よこたまさふみ  
横田雅史

<収集・運搬>

〒700-0942 岡山市南区豊成1-7-14  
TEL. 086-262-0015 FAX. 086-264-5625 [所属支部：岡山西]

# 平成24年度 許可申請に関する講習会予定表 (近県抜粋)

## ●新規許可講習会

◇産業廃棄物の収集・運搬課程

講習期間 2日間 受講料 ¥30,400

開催地	開催日	定員	申込先
京 都	平成24年 9月 4日 (火) ~ 9月 5日 (水)	150	(社)京都府産業廃棄物協会 TEL : 075-694-3402
高 知	平成24年 9月27日 (木) ~ 9月28日 (金)	120	(社)高知県産業廃棄物協会 TEL : 088-872-5056
山 口	平成24年10月 2日 (火) ~ 10月 3日 (水)	140	(社)山口県産業廃棄物協会 TEL : 083-928-1938
兵 庫	平成24年10月16日 (火) ~ 10月17日 (水)	150	(社)兵庫県産業廃棄物協会 TEL : 078-371-3177
岡 山	平成24年11月 7日 (水) ~ 11月 8日 (木)	150	(社)岡山県産業廃棄物協会 TEL : 086-254-9383
大 阪	平成24年12月18日 (火) ~ 12月19日 (水)	150	(社)大阪府産業廃棄物協会 TEL : 06-6943-4016
広 島	平成25年 1月22日 (火) ~ 1月23日 (水)	140	(社)広島県資源循環協会 TEL : 082-247-8499
京 都	平成25年 2月 6日 (水) ~ 2月 7日 (木)	150	(社)京都府産業廃棄物協会 TEL : 075-694-3402
徳 島	平成25年 2月13日 (水) ~ 2月14日 (木)	150	(社)徳島県産業廃棄物処理協会 TEL : 088-626-1381
兵 庫	平成25年 2月21日 (木) ~ 2月22日 (金)	150	(社)兵庫県産業廃棄物協会 TEL : 078-371-3177
大 阪	平成25年 3月12日 (火) ~ 3月13日 (水)	150	(社)大阪府産業廃棄物協会 TEL : 06-6943-4016

◇産業廃棄物の処分課程

上段：処分課程のみ受講 講習期間 3日間 受講料 ¥48,300

※収集・運搬課程を同時受講することができます。 下段：両 課程同時受講 講習期間3.5日間 受講料 ¥67,400

開催地	開催日	定員	申込先
岡 山	平成24年10月16日 (火) ~ 10月18日 (木) 10月19日 (金)	150	(社)岡山県産業廃棄物協会 TEL : 086-254-9383
愛 媛	平成24年11月13日 (火) ~ 11月15日 (木) 11月16日 (金)	100	(社)愛媛県産業廃棄物協会 TEL : 089-986-3450
京 都	平成25年 3月 5日 (火) ~ 3月 7日 (木) 3月 8日 (金)	150	(社)京都府産業廃棄物協会 TEL : 075-694-3402

◇特別管理産業廃棄物の収集・運搬課程

講習期間 3日間 受講料 ¥46,200

開催地	開催日	定員	申込先
広 島	平成24年 9月26日 (水) ~ 9月28日 (金)	140	(社)広島県資源循環協会 TEL : 082-247-8499
愛 媛	平成24年12月11日 (火) ~ 12月13日 (木)	100	(社)愛媛県産業廃棄物協会 TEL : 089-986-3450
大 阪	平成25年 2月26日 (火) ~ 2月28日 (木)	150	(社)大阪府産業廃棄物協会 TEL : 06-6943-4016

◇特別管理産業廃棄物の処分課程

上段：処分課程のみ受講 講習期間 4日間 受講料 ¥68,000

※収集・運搬課程を同時受講することができます。 下段：両 課程同時受講 講習期間4.5日間 受講料 ¥97,600

開催地	開催日	定員	申込先
大 阪	平成24年 9月24日 (月) ~ 9月27日 (木) 9月28日 (金)	100	(社)大阪府産業廃棄物協会 TEL : 06-6943-4016



## ●更新許可講習会

◇産業廃棄物又は特別管理産業廃棄物の収集・運搬課程

講習期間 1 日間 受講料 ¥20,000

開催地	開催日	定員	申込先
京 都	平成24年 9 月 6 日 (木)	150	(社)京都府産業廃棄物協会 TEL : 075-694-3402
兵 庫	平成24年 9 月11日 (火)	150	(一社)兵庫県産業廃棄物協会 TEL : 078-371-3177
愛 媛	平成24年 9 月19日 (水)	150	(社)愛媛県産業廃棄物協会 TEL : 089-986-3450
大 阪	平成24年10月25日 (木)	150	(社)大阪府産業廃棄物協会 TEL : 06-6943-4016
広 島	平成24年11月 1 日 (木)	140	(一社)広島県資源循環協会 TEL : 082-247-8499
山 口	平成24年11月27日 (火)	140	(社)山口県産業廃棄物協会 TEL : 083-928-1938
京 都	平成24年11月29日 (木)	150	(社)京都府産業廃棄物協会 TEL : 075-694-3402
兵 庫	平成24年12月 4 日 (火)	150	(一社)兵庫県産業廃棄物協会 TEL : 078-371-3177
香 川	平成24年12月20日 (木)	150	(一社)香川県産業廃棄物協会 TEL : 087-847-8400
大 阪	平成25年 1 月23日 (水)	150	(社)大阪府産業廃棄物協会 TEL : 06-6943-4016
京 都	平成25年 2 月13日 (水)	150	(社)京都府産業廃棄物協会 TEL : 075-694-3402
岡 山	平成25年 2 月14日 (木)	150	(一社)岡山県産業廃棄物協会 TEL : 086-254-9383
広 島	平成25年 2 月28日 (木)	140	(一社)広島県資源循環協会 TEL : 082-247-8499
兵 庫	平成25年 3 月14日 (木)	150	(一社)兵庫県産業廃棄物協会 TEL : 078-371-3177

◇産業廃棄物又は特別管理産業廃棄物の処分課程

講習期間 2 日間 受講料 ¥25,200

開催地	開催日	定員	申込先
岡 山	平成24年 9 月 6 日 (木) ~ 9 月 7 日 (金)	100	(一社)岡山県産業廃棄物協会 TEL : 086-254-9383
大 阪	平成24年10月11日 (木) ~ 10月12日 (金)	100	(社)大阪府産業廃棄物協会 TEL : 06-6943-4016
兵 庫	平成25年 1 月24日 (木) ~ 1 月25日 (金)	100	(一社)兵庫県産業廃棄物協会 TEL : 078-371-3177

※収集・運搬課程を同時受講することができます。

両課程同時受講 講習期間 2 日間 受講料 ¥38,600

## ●特別管理産業廃棄物管理責任者講習会

講習期間 1 日間 受講料 ¥14,000

開催地	開催日	定員	申込先
京 都	平成24年 9 月 7 日 (金)	150	(社)京都府産業廃棄物協会 TEL : 075-694-3402
兵 庫	平成24年 9 月12日 (水)	150	(一社)兵庫県産業廃棄物協会 TEL : 078-371-3177
愛 媛	平成24年 9 月20日 (木)	150	(社)愛媛県産業廃棄物協会 TEL : 089-986-3450
大 阪	平成24年10月24日 (水)	150	(社)大阪府産業廃棄物協会 TEL : 06-6943-4016
広 島	平成24年11月 2 日 (金)	140	(一社)広島県資源循環協会 TEL : 082-247-8499
岡 山	平成24年11月 9 日 (金)	150	(一社)岡山県産業廃棄物協会 TEL : 086-254-9383

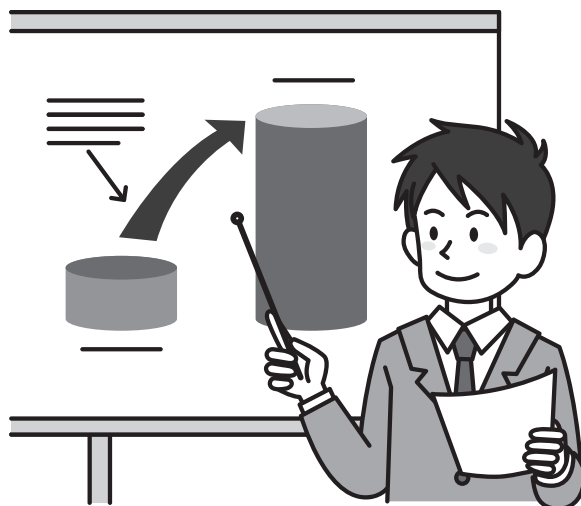
山口	平成24年11月28日（水）	140	(社)山口県産業廃棄物協会 TEL：083-928-1938
京都	平成24年11月30日（金）	150	(社)京都府産業廃棄物協会 TEL：075-694-3402
兵庫	平成24年12月5日（水）	150	(一社)兵庫県産業廃棄物協会 TEL：078-371-3177
大阪	平成24年12月20日（木）	150	(社)大阪府産業廃棄物協会 TEL：06-6943-4016
香川	平成24年12月21日（金）	150	(一社)香川県産業廃棄物協会 TEL：087-847-8400
大阪	平成25年1月22日（火）	150	(社)大阪府産業廃棄物協会 TEL：06-6943-4016
京都	平成25年2月14日（木）	150	(社)京都府産業廃棄物協会 TEL：075-694-3402
岡山	平成25年2月15日（金）	150	(一社)岡山県産業廃棄物協会 TEL：086-254-9383
広島	平成25年3月1日（金）	140	(一社)広島県資源循環協会 TEL：082-247-8499
大阪	平成25年3月14日（木）	150	(社)大阪府産業廃棄物協会 TEL：06-6943-4016
兵庫	平成25年3月15日（金）	150	(一社)兵庫県産業廃棄物協会 TEL：078-371-3177

●医療関係機関等を対象にした

### 特別管理産業廃棄物管理責任者講習会

講習期間1日間 受講料¥14,000

開催地	開催日	定員	申込先
岡山	平成25年1月29日（火）	150	(一社)岡山県産業廃棄物協会 TEL：086-254-9383



# 第9回通常総会開催

## 中国ブロック青年部協議会

全国産業廃棄物連合会青年部協議会中国ブロック青年部協議会の第9回通常総会が平成24年7月6日（金）に、鳥根県松江市の松江東急インにて開催されました。

総会は、一般社団法人鳥根県産業廃棄物協会青年部内田さんの司会で、野々村さん（鳥根県）が開会宣言、中国ブロック青年部三輪会長（鳥取県）の挨拶から始まりました。来賓の鳥根県環境生活部廃棄物対策課課長 難波賢二様、一般社団法人鳥根県産業廃棄物協会 野津勝男副会長より、祝辞を頂戴し、三輪会長を議長に選任し、議事に入りました。

第1号議案（平成23年度事業報告承認の件）

第2号議案（平成23年度収支決算書承認の件）

第3号議案（平成24年度事業計画（案）承認の件）

第4号議案（平成24年度収支予算（案）承認の件）

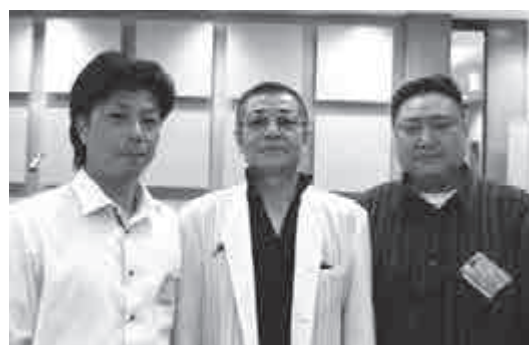
が審議され、原案の通り承認可決されました。特に、平成24年事業計画については、平成24年11月22日に岡山県で開催される全国産業廃棄物連合会青年部協議会第8回全国大会の実行委員会の会議を開催し、全国大会を大成功に導く為の準備を進めることとしています。

最後に、来年度全国産業廃棄物連合会青年部協議会中国ブロック青年部協議会第10回通常総会が開催される山口県の上村副会長が、閉会の挨拶をされ、総会は無事終了致しました。

総会終了後、元開星高校硬式野球部野々村直道監督の講演会がありました。長い教師生活の実話について、面白く、また、私達のためになるお話をしてくださいました。普通では考えられない様な事を暴露されたりと、あっという間の約2時間の講演でした。

講演会終了後、会場を移して懇親会が開催されました。全国産業廃棄物連合会青年部協議会第8回全国大会in岡山に参加して頂く為の余興として、全国大会実行委員長の木下さん（岡山県）を中心に、寸劇をしました。その後、ビンゴゲームが行われ、豪華賞品を獲得すべく大いに盛り上がり、親睦を深める事が出来ました。

翌日、7月7日（土）には中国ブロック青年部親睦ゴルフ大会が大山の地で開催され、20名程の参加者で各県対抗戦を行い、鳥取県が優勝しました。





# 第8回青年部協議会全国大会 *in* 岡山

CSR2 PROJECT   
<http://www.csr2-project.jp/>

2012.11.22 日



晴れの国から  
情熱を!!

第8回 全国産業廃棄物連合会  
全国青年部協議会全国大会

# 岡山大会

# PROGRAM

## 第4部

大懇親会

中国5県の「ご当地」の美味しいお菓子を堪能していただきます。  
 ショックレイトゲストが来るかも。  
 そして、第5部 素晴らしい岡山の夜の街が皆さんをお待ちしています。

## 第3部

全国青年部協議会 記念事業  
 CSR2プロジェクト 結果発表並びに表彰式

CSR2プロジェクト(CSR2プロジェクト)への取り組み発表と、  
 CSR2プロジェクトの表彰式を行います。

## 第2部

中国ブロック記念事業

小学生の環境学習公開授業  
 岡山県産業廃棄物協会が今年度「環境活動の一環として」行われた  
 小学生の環境学習公開授業の様子をご紹介します。

## 第1部

オープニングセレモニー

岡山県産業廃棄物協会が今年度「環境活動の一環として」行われた  
 オープニングセレモニーの様子をご紹介します。



晴れの国から  
 情熱を!!

第8回 全国産業廃棄物協会  
 全国青年部協議会全国大会

# 岡山大会

CSR2 PROJECT  
 URL: http://www.csr2project.jp/

2012.11.22



テーマソング  
 『同じ時代 同じ夢を』  
 作詞・作曲・歌  
 米澤盛益

secret quest



「CSR2プロジェクト」は、環境保全、社会貢献、ガバナンスと情報開示等、  
 産業廃棄物処理業界にとって非常に重要な活動を推進することによって、  
 企業と社会の持続的な発展を図る活動です。



## MAP

開催場所

岡山プラザホテル

ACCESS

〒703-8256 岡山ICより車で20分  
 岡山市中区浜2-3-12 岡山空港よりタクシーで30分  
 TEL 086-272-1201 JR岡山駅よりタクシーで10分

問合せ先

主催 全国産業廃棄物協会 全国青年部協議会  
 主 監 産業廃棄物協会青年部協議会 中国ブロック協議会  
 事務局 一般社団法人岡山県産業廃棄物協会  
 〒701-1152  
 岡山県岡山市北区津高628-8  
 TEL 086-254-9383  
 FAX 086-254-8766

ようこそ、  
 晴れの国  
 岡山へ!

この度は岡山大会開催にあたりまして、お越しいただける皆  
 様には中国ブロック会員一同心より感謝申し上げます。  
 さて、我々は全国大会を開催するにあたり、一番考えたのは岡  
 山と中国5県を「どうアピールするか」と言う事です。それを記  
 念事業や大懇親会で感じて頂ければ幸いです。  
 「CSR2プロジェクト」を通じた業界のレベル  
 の向上と、地域色あふれるおもてなしで、みなさ  
 まに楽しいひと時と良い思い出になることを  
 願っております。最後まで楽しんでください!

全国産業廃棄物協会  
 青年部協議会  
 中国ブロック会長 三輪陽通



全国産業廃棄物協会青年部協議会の第8回全国大会岡山大会  
 を開催するにあたり、多くのご参加を隔り心より御礼申し上げます。  
 今回は全国8ブロック最後の開催となり、全国大会の大きな節目を  
 迎える大会となりました。その記念すべき第8回大会を岡山の地で開  
 催できたことを大変嬉しく思います。  
 さて、今回は岡山大会の開催にあたり、多くのご参加を隔り心より御礼申し上げます。  
 また今回の大会では、全国から多くのエントリーやご報告をいただき、そ  
 れぞれの取り組みを拝見することができ、大変勉強になりました。  
 また今回はプロジェクトの一環として全国一斉清掃活動が各地で開催  
 され、たいへんな盛り上がりを見せた「CSR2プロジェクト」がいよ  
 りよりの活動となりました。どのような表彰結果となるか、ぜひ楽しみにして  
 ください。  
 そして、今回は開催地である岡山県青年部をはじめ中国5県の青年部が  
 力を合わせて準備をして参りました。全国から集まる多くの同志の方  
 々に心から喜んでいただけるように努力を重ねてきましたので、楽しく  
 且つ勉強になる全国大会になりますことをご祈念申し上げます。  
 ぜひ皆さん楽しんでください!

全国産業廃棄物協会  
 青年部協議会 会長 尾崎俊也



## 児島湖（岡山市・玉野市）



児島湾干拓地の水不足、塩害、浸水などの問題を解決しようと昭和25年に児島湾を締め切って淡水湖にするための工事がスタートし、昭和31年の締切によって児島湾締切堤防と児島湖が誕生しました。

児島湖は、児島湾の中ほどを延長1,558mの巨大な児島湾締切堤防で囲うことで築かれた淡水湖であり、このことにより、地域の長年に及ぶ深刻な水問題等は一挙に解決を見ました。

## 編集後記

今、我が国と隣国との間で領土問題が起こっています。領土問題は我が国だけでなく世界中で起きています。個人の土地でもお隣さんと、もめごとになったりしますよね。東日本大震災で被災された方々の土地はちゃんと線引きが出来るのかとても心配です。

(T.M)

### 会報・くりにん岡山 第46号

平成24年9月10日 発行

発行 一般社団法人 岡山県産業廃棄物協会  
〒701-1152 岡山市北区津高628-6  
TEL 086-254-9383 FAX 086-254-8766

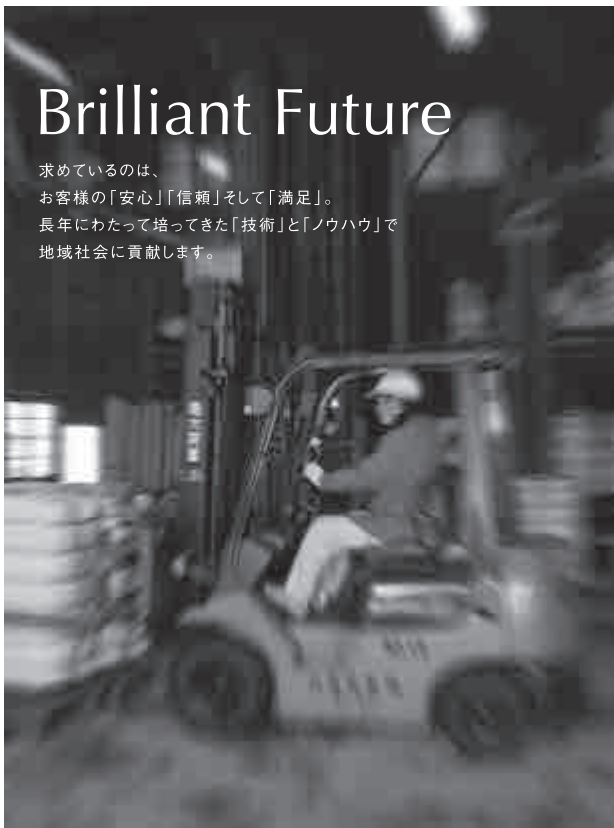
編集 総務広報委員会

印刷 萌友出版



# Brilliant Future

求めているのは、  
お客様の「安心」「信頼」そして「満足」。  
長年にわたって培ってきた「技術」と「ノウハウ」で  
地域社会に貢献します。



地 域 社 会 に 貢 献 す る

**内海産業株式会社**  
**NAIKAI INDUSTRY CO.,LTD.**

〒704-8194 岡山市東区金岡東町2-19-27  
Tel : 086-948-2137 Fax : 086-948-4767  
E-mail : naikai@aioros.ocn.ne.jp  
<http://www.optic.or.jp/saidaijicci/naikai/>

# 緑のリサイクル

産業廃棄物から一般廃棄物まで木くず、剪定枝、草の処理なら当社にお任せください。



## 営業品目

- \* 産業廃棄物・一般廃棄物中間処理
- \* 木材チップ生産事業
- \* 緑化資材事業
- \* 不動産事業
- \* 保険代理業



**タマタイ産業株式会社**  
代表取締役 大塚 雅司

本社 〒700-0935 岡山市北区神田町2-1-25  
TEL(086)224-3291 FAX(086)223-6354  
URL <http://www.tamatai.com>  
E-mail [tamatai@po4.oninet.ne.jp](mailto:tamatai@po4.oninet.ne.jp)

金川工場 〒709-3234 岡山市北区御津下田450  
TEL(0867)24-0115 FAX(0867)24-2694  
E-mail [tamakana@citrus.ocn.ne.jp](mailto:tamakana@citrus.ocn.ne.jp)

建部工場 〒709-3121 岡山市北区建部町大田1425  
TEL(0867)22-3865 FAX(0867)22-3459  
E-mail [tamatake@po4.oninet.ne.jp](mailto:tamatake@po4.oninet.ne.jp)

今や、生産物とともに生じる産業廃棄物は年々増加し、膨大な量となっています。  
これらの産業廃棄物をどう処理していくのか？  
エコロジーが叫ばれる中、大切なのはリサイクル。ゴミは資源なのです。

- ・ 事業系一般廃棄物収集運搬業
- ・ 産業廃棄物処理、収集運搬業
- ・ 産業廃棄物中間処理作業

有限会社 豊田建運  
代表取締役 豊田 紀代美

〒709-0704 岡山県赤磐市沢原1541-1

TEL086-995-0001

FAX086-995-2222

URL <http://www.toyotakenun.co.jp>



生き生き暮らせる  
環境と人を守りたい



山陽環境開発株式会社

一般廃棄物処理業（収集運搬）

産業廃棄物処理業（収集運搬・中間処理[破碎・圧縮・焼却・濃縮・乾燥]）

〒718-0003 新見市高尾 2304-1

tel.0867-72-5415 / fax.0867-72-1780

e-mail. [info@sanyokirei.com](mailto:info@sanyokirei.com) / web. <http://sanyokirei.com>



エコアクション21  
認定・登録番号 0002359

# DOWA

## エコシステムジャパン株式会社



DOWA のリサイクル・廃棄物処理・土壌浄化  
「循環型社会」構築へ、お客様とともに取り組みます。

〒708-1523

岡山県久米郡美咲町吉ヶ原1048-2

TEL 0868(62)1573 FAX 0868(62)1330



### 解体工事

#### 金属・非鉄金属リサイクル

産業廃棄物適正処理を通じて、  
皆様の次の一步を

お手伝いさせていただきます。

建築物解体全般  
製鋼原料・非鉄金属原料  
産業廃棄物処理  
東京製鐵㈱指定産納店

### 安田産業株式会社

代表取締役 安田 猛男

本社：〒702-8036 岡山市南区三浜町1-1-18

TEL086-263-3061 FAX086-263-3020



倉メカ

検索

リサイクルで減らすことができたCO<sub>2</sub>の見える化を推進しています！

 倉敷メカニズム



# Bye-Bye CO<sub>2</sub> プロジェクト

<http://www.kurashiki-mechanism.com>

環境貢献ウェブサイト system by

## NIK 環境



〒711-0907 倉敷市児島上の町1丁目9-67 TEL: 086-472-1828 FAX: 086-473-2117

地球温暖化対策、社会貢献 (CSR)、カーボン・マイナス・オン・リサイクル (CMR) にお役立てください。

みんな  
幸せに なるう！

社長の人生訓であり、当社の経営理念です。  
私に出会った人は、  
みんな幸せになってもらいたい。  
これが社長の願いであり、  
皆様に対する当社の気持ちです。

# 株式会社 美建ビルサービス

事業内容

- 産業廃棄物処分量 (中間処理) ○産業廃棄物収集運搬業 ○特別管理産業廃棄物収集運搬業
- 一般廃棄物収集運搬業 ○自動車解体業 ○建設・解体工事業 ○美装・清掃業

【 本 社 】〒710-0016 岡山県倉敷市中庄 2248-4  
TEL : 086-463-1351 FAX : 086-463-1779  
URL : <http://www.bics.co.jp/bic/biken>  
E-mail : [bken@bics.co.jp](mailto:bken@bics.co.jp)

代表取締役 小林 建雄

- 【 広島営業所 】〒730-0046 広島県広島市中区昭和町 3-4 山下ビル
- 【 栗坂事業所 】〒701-0113 岡山県倉敷市栗坂 334-3
- 【 瀬戸事業所 】〒709-0841 岡山県岡山市東区瀬戸町万富 1046-1
- 【 広島西事業所 】〒738-0034 広島県廿日市市宮内 2470
- 【 大仙寺作業所 】〒701-1525 岡山県岡山市北区上高田字大仙寺 349-1

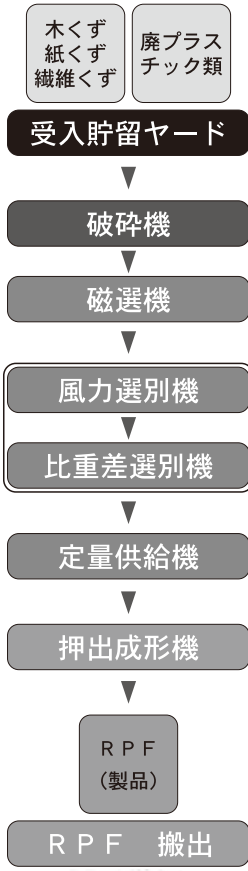


エコアクション21  
認証・登録番号 0003257

# 新しい未来へ向けて、 西日本アチューマツトクリーンは 動き出しています。

## エネルギーの 有効活用と CO<sub>2</sub>の削減を 目指して

固形燃料  
(RPF)  
のできるまで  
～製造の流れ～



清浄な空気を大気へ排出します



固形燃料 (RPF)



Clean & Recycle

私たちは地球の未来に真剣です。

## 西日本アチューマツトクリーン



本 社 〒703-8245 岡山市中区藤原50-1  
TEL.(086)272-8042 FAX.(086)271-1050

倉敷営業所 〒712-8044 倉敷市東塚5-17-58  
TEL & FAX.(086)456-4433

RPF工場 〒701-2225 赤磐市山口2131-4  
TEL.(086)957-4919 FAX.(086)957-4922





**環境** を考える

産業廃棄物の処理・処分を適正に行い、循環型社会形成のためにリサイクルの推進を行ってまいります。

未来に翔く



# 倉敷企業 合資会社

倉敷市 許可番号 第10040002863号

ISO14001  
認証取得



JQA-EM5372

- ・本社：岡山県倉敷市中央 1-6-24 ☎(086)424-6429
- ・弥高山事業所：倉敷市玉島服部 3318-2 ☎(086)525-8515
- ・黒石事業所：倉敷市黒石 1052 ☎(086)426-1379
- ・大平山リサイクルセンター：倉敷市連島町西之浦 4566-1 ☎(086)448-8224

## 産業廃棄物中間処理

がれき類(コンクリートくず、アスファルトくず、瓦くず等)、廃プラ、木くず、紙くず、繊維くず、建設汚泥、廃石膏ボード、金属くず、ガラス・陶磁器くず 等

## 最終処分(安定型・管理型)



再資源化施設  
(コンクリートくず・アスファルトくず)



再資源化施設  
(木くず)



固形燃料施設  
(廃プラ・木くず・紙くず)

岡山県エコ製品(再生砕石、再生砂、改良土)、  
木材チップ(燃料用、原料用)、固形燃料(RPF)の販売



## 中央建設(株)

総合建設業/建物解体工事業

本社 ☎(086) 424-6429

本店 ☎(086) 284-5118

## (株)トーヨー商事

倉敷市長許可第 10040030706号

本社 ☎(086) 424-6429

黒石 ☎(086) 426-1379